

■田中 信行 略歴

1959 東京都生まれ
1985 東京芸術大学大学院美術研究科工芸専攻漆芸修了
2003 第14回タカシマヤ文化基金タカシマヤ美術賞受賞
2012 第18回MOA岡田茂吉賞大賞受賞
現在 金沢美術工芸大学工芸科教授

■主な個展

1989 ギャラリー山口/東京 ('90, '96)
1992 ときわ画廊/東京
1993 モリスギャラリー/東京
1994 マスダスタジオ/東京
1996 ギャラリーブス/東京
1998 「工芸的なもの」をめぐって(北澤憲昭連続企画Vol.1) ギャラリーマキ/東京
1999 エキジビション・スペース/東京
2004 コウイチ ヤナギ オリエンタルファインアートギャラリー/ニューヨーク ('08, '11, '15)
2005 「Life/art'05」資生堂ギャラリー/東京
2009 「漆が喚起するもの」入善町 下山芸術の森 発電所美術館/富山
2010 「The Tactile Memory」日本橋美術画廊X/東京
2014 「田中信行新作展」ケンジタキギャラリー/東京
2016 「Imaginary Skin」上野の森美術館ギャラリー/東京、金沢アートグミ/石川
2017 「Imaginary Skin」ギャラリーNOW/富山
田中信行の茶室「流れる水 ふれる水」山口県立萩美術館・浦上記念館/山口

■近年の主なグループ展

2005 「アルス・ノーヴァー 現代美術と工芸のはざまに」東京都現代美術館
2007 「宇宙御絵図」豊田市美術館/愛知
「清州国際工芸ビエンナーレ2007 Crafts:A Mode of Life展」韓国
「六本木クロッシング2007 未来への脈動」森美術館/東京
2008 「JAPAN! CULTURE+HYPER CULTURE」ケネディセンター/ワシントンD.C
2010 「第1回金沢世界工芸トリエンナーレ」金沢市
「湖北国際漆トリエンナーレ」湖北省美術館/中国
会津漆の芸術祭「漆のチカラ」福島県立博物館/福島
2011 「美へ挑む 漆の輝き - 近現代日本の漆芸」浦添市美術館/沖縄
「サイレント・エコー I」コレクション展 金沢21世紀美術館/石川
「漆展 - 新しい漆のかたち -」伊丹市立工芸センター/兵庫
「会津漆の芸術祭2011 - 東北へのエール -」会津若松市、喜多方市/福島
2012 「現代造形の行方 - 素材は語る -」樂翠亭美術館/富山
「第18回MOA岡田茂吉賞 - 明日の日本画・工芸を展望する -」MOA美術館/静岡
「現代の座標 - 工芸をめぐる11の思考 -」東京国立近代美術館工芸館
「会津・漆の芸術祭2012 - 地の記憶 未来へ -」会津若松市/福島
「漆芸 - 軌跡と未来 -」東京芸術大学大学美術館
2013 「黒田辰秋・田中信行 - 漆という力 -」豊田市美術館/愛知
「2013国際漆芸招待展」啓明大学校、克哉美術館/韓国
「2013湖北国際漆トリエンナーレ - 源・流 -」湖北美術館/中国
特別展「現代工芸の展開」金沢市立安江金箔工芸館/石川
「現代日本の工芸」森上博物館/アメリカ
「The Audacious Eye: Japanese Art from the Clark Collections」ミネアポリス美術館/アメリカ
2014 「TEFAF」マーストリヒト/オランダ ('15, '16, '17)
「COLLECT」サーチギャラリー/ロンドン ('15)
「方法の発露」ギャラリー緑隣館 上尾市/埼玉
「ART MIAMI 2014」マイアミ/アメリカ ('15, '16, '17)
2015 「ART STAGE SINGAPORE」シンガポール ('16)
「開館20周年記念展 - GROWING -」入善町 下山芸術の森 発電所美術館/富山
「シンプルなかたち展」森美術館/東京
「うるしのみらい」展 安曇野高橋節郎記念美術館/長野
「第1回アジア漆芸展」福州拓福美術館/中国
「現代アートと樂翠亭」樂翠亭美術館/富山
2016 「2016福州国際漆芸ビエンナーレ」福州漆芸術研究院/中国
「国際現代漆美術展」統営市漆芸美術館/韓国
「2016湖北国際漆トリエンナーレ」湖北省美術館/中国
「革新の工芸“伝統と前衛”、そして現代」東京国立近代美術館工芸館
2017 「新しい工芸 KOGEI Future Forward」日本橋三越/東京

■主なコレクション

東京国立近代美術館/東京
豊田市美術館/愛知
金沢21世紀美術館/石川
広島県立美術館/広島
森美術館/東京
国際交流基金/東京
豊田町香りの博物館/静岡
資生堂アートハウス/静岡
金沢卯辰山工芸工房/石川
樂翠亭美術館/富山
メトロポリタン美術館/アメリカ
ギッターイエレン財団/アメリカ
ブルックリン美術館/アメリカ
ミネアポリス美術館/アメリカ
セインズベリー・ビジュアルアーツ・センター/イギリス
ビクトリア&アルバート美術館/イギリス
グラッシー美術館/ドイツ
湖北省美術館/中国
福建省拓福美術館/中国
フィラデルフィア美術館/アメリカ



田中信行の茶室
流れる水 ふれる水
Flowing Water and Tactile Water
2017.4.8[SAT] - 2018.3.25[SUN]

 山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1
TEL : 0838-24-2400 FAX : 0838-24-2401
開館時間 9:00~17:00 (入場は16:30まで)
休館日 月曜日(祝日・休日は開館)、年末年始、
展示替え期間
※施設・設備保守点検のため臨時休館する場合があります
<http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>



田中信行の茶室 流れる水 ふれる水

Flowing Water and Tactile Water

2017.4.8[SAT] - 2018.3.25[SUN]



「流れる水 ふれる水」2017年
寸法：高さ200×幅65×奥行き33cm 素材・技法：漆、麻布/乾漆



「流れる水 ふれる水」2017年
寸法：高さ65×幅37×奥行き25cm 素材・技法：漆、麻布/乾漆

漆 —皮膜的造形の意味するもの—

私は漆の質感に原初的な魅力を感じています。近年の私の皮膜的造形作品は、漆の質感から喚起される有機的な形と皮膚感を、凹凸のある曲面を伴いながら漆の自立した皮膜の造形として成立させたものです。私は漆の質感を手がかりに表現の方法を考えてきましたが、漆を塗るということの意味や漆が塗られた表面が表現の構造及び形態においてどのような意味をもつのか、この問いに対する答えを求めて私は皮膜的造形の仕事を展開してきました。

今回茶室に展示した作品「流れる水 ふれる水」は、そのような漆の質感から喚起された造形作品の一つです。漆黒に磨かれた漆面は、周囲の景色を取り込みながら空間に存在します。またその表面は深く吸い込まれるような水面のようでもあります。岩のようなゴツゴツした形に光の反射を考慮しつつ流れるような漆黒の面を作り、あたかも潤いのある流れる水に見えるように意図して制作したものです。

漆の表現の独自性を求めることと同時に、私の作る漆造形表現が一体何を目指しているのかという問いも常に私の脳裏にあります。漆の質感から喚起され原初的なものを求めて制作してきた欲求の先にあるものは何なのか。自然の樹液である漆に惹かれその漆を現代の表現として生かそうと制作しつつ、単に漆の美しいさまを見せようとしているだけでないその先にあるもの、表現しようとしているものは何なのかと。

私は漆で制作することを通して物質と身体或いは物質と精神の関係を問うているともいえるのですが、物質に自然を見出し同一化していくその精神の働きの目指すところは、自然や宇宙と精神的に出会う物（場）或いは宇宙と根源的に繋がろうとする物（場）を求めていると言えるのかもしれませんが。日常を離れあまりに観念的になることを恐れながらも、私はその答えを漆の仕事を通して表現できたらと願って制作しています。

2017年4月 田 中 信 行